

α s1-カゼインのアレルゲン活性に対する 免疫学的機序による制御に関する研究

1. 研究の対象

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科において、

- ①2010年度から2016年度に牛乳アレルギーに対する ROIT を受けた方。
- ②牛乳アレルギーと確定診断された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：

牛乳アレルギーの様々なステージにおいて、高度に精製した α s1カゼインを用いた抗体測定と、好塩基球活性化試験(Basophil activation test, BAT)を検討することです。

方法：

2010年度から2016年度に牛乳アレルギーに対する ROIT を受けた患者において、経時的に保存されている血清を主な解析対象とします。対象患者には、200ml 摂取可能な脱感作状態にある方と、誘発症状を繰り返して脱感作状態に未到達な方を含めます。また、比較対照として、5歳過ぎてもアナフィラキシーのリスクのために牛乳完全除去中の患者、及び自然経過(又は食事指導)により耐性獲得に至った方の、既に保存されている血清も解析します。

名古屋学芸大学にて、牛乳タンパクから高純度に精製した α s1カゼインを作成します。この α s1カゼインを使用して、特異的 IgE、IgG4 抗体測定を名古屋学芸大学及び愛知医科大学で行います。BAT は、藤田保健衛生大学にて行います。BAT は健常成人ボランティアから末梢血を採取し患者血清と混合して血清中の IgE 抗体を結合させることで受動感作させ、そこに精製した α s1カゼインを反応させた後、好塩基球活性化の指標である細胞表面 CD203c の発現量をフローサイトメーターで測定します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：①上記対象者の血液

②健常成人ボランティアの血液

情報：性別、牛乳アレルギーの病歴、治療歴等

4. 外部への試料・情報の提供

対象者の個人情報を含む情報は、研究事務局で個人情報の保管について連結匿名化を行い、登録済みのハードディスクに保存します。共同研究施設に検体を持ち出す場合は、匿名 ID のみで管理して、個人情報は外部に持ち出しません。

5. 研究組織

研究責任者 伊藤浩明 (あいち小児保健医療総合センター 副センター長)

共同研究者

アレルギー科医長 杉浦至郎、松井照明

総合診療科医長 高里良宏

アレルギー科フェロー 田島巖、田上和憲、小野学、北村勝誠、田嶋直哉
牧野篤司、坂井聡、國崎純、大林浩明

(2017年4月現在)

研究協力者

アレルギー科 管理栄養士 中里友美

研究事務局

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500(内線 5009)FAX 0562-43-0513

E-mail:allergy-secretary@cd5. so-net. ne. jp(アレルギー科秘書 中里)

共同研究機関・共同研究者

藤田保健衛生大学 坂文種報徳会病院 小児科 教授 近藤康人

藤田保健衛生大学 小児科 教授 柘植郁哉

愛知医科大学 小児科 助教 武藤太一朗

名古屋学芸大学 管理栄養学科 教授、学科長 和泉秀彦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 アレルギー科 担当者名 松井照明

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：

あいち小児保健医療総合センター 副センター長 伊藤浩明

研究代表者：

あいち小児保健医療総合センター 副センター長 伊藤浩明